

地質ニュース

昭和 45 年 4 月

第 188 号

1970

解 説	深部構造研究の歴史的概観と現状について ～第三系堆積盆地の形成機構の研究 その2～	鈴木 影宮 小島 木梨 山下 玉田 尉 邦 智 三郎 夫 元 昂 夫	1
トピックス	九州西方甌島周辺海域の海洋地質調査	中 尾 征 三 水 野 篤 行	12
	顕 微 鏡 下 の 岩 石 ⑥ 中生代の流紋岩②	山 河 直 利 正 田 田 井 義 雄 郎	31
	窯業原料とくにけい酸塩の化学分析方法と海外規格	藤 貫 正	26
	ノーベルドリリング ②	河 内 英 幸 加 藤 完	22
	月 の 地 質 学 ⑦	小 森 長 生	34
海外事情	台北滞在 3 ヶ月の日記から	竹 田 栄 藏	41
	韓国地質調査所 海洋地質部の発足	林 昇 一 郎	48
	ニッケル探鉱ブームに湧くオーストラリア	高 島 清	50
	メコン河のほとりにて	沢 田 秀 穂	56
	学会 掲 示 板		25
	地質調査所発行の各種地質図一覧		64
	地 学 と 切 手	堀 内 恵 彦	21

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

輝 安 鉱 Stibnite Sb_2S_3

愛媛県新居郡大生院村市ノ川鉱山 和田標本

Stibnite from Ichinokawa mine. Iyo Province というラベルのついた輝安鉱の巨晶を飾ってない自然科学博物館は ヨーロッパやアメリカにはほとんどない といつて良いくらい 市ノ川鉱山の輝安鉱の結晶標本は世界的に有名であり また広くゆきわたっている これこそ日本の代表的な鉱物標本である 外国の鉱物収集家が要求してくる交換希望のリストのトップには今でもこの標本をあげている場合が多い しかし 市ノ川鉱山で巨晶の産出したのは1881～2年頃で 全く産出しなくなつてからすでに長い 当時産出した結晶の多くは 鉱物標本として諸外国に輸出されてしまい 日本に残っている標本の数の方が少ないくらいである そのうちでも 最も数多く結晶標本を保管しているのは和田標本で ついで東京大学工学部所有の群晶標本がみごとである 結晶は結晶片岩中の石英脈の晶洞中に産出し 長さ60cm に達するものがあつたという (解説 砂川一郎 写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社